

「鎌ケ谷市第3次行財政改革推進プラン」

～未来に希望を持てる持続可能なまちであり続けるために～

令和7年度の実績について

1 計画の目的

少子高齢化・人口減少への対応、公共施設の老朽化対策、新型コロナウイルス感染症の影響等に伴い、財政状況が厳しさを増すなど、多くの解決すべき行政課題がある中で、将来にわたって必要とされる行政サービスの提供を維持していくためには、引き続き、これまでの行財政改革の取組みを継続しながら、新たな視点として、ICTの活用や業務効率化など「経営的な視点」を取り入れ、より効率的な行財政運営を推進していく必要があります。

そのため、限られた行財政資源（財源・人材・資産）を最大限に活用するため、「健全な財政状況の維持」と「将来のまちづくりへの積極的な投資」の二つのバランスを見極めながら、経営的な視点を踏まえ、効率的で効果的な自治体運営の実現を目指します。

2 計画に定める数値目標に対する実績

項 目	目 標	令和7年度実績
① 車座集会の参加人数(累計)	3,000人 (令和8年度)	3,337人
② 経常収支比率	※1 95%未満	94.8%
③ 財政調整基金残高	※2 19億円以上	16.6億円
④ 健全化判断比率	早期健全化基準未満	早期健全化基準未満

※ 上記の他に「行財政改革による歳出超過の解消」も数値目標として定めていますが、行財政改革の効果は、歳入確保・歳出削減だけでなく、市民サービスの向上や事務の効率化を図られるものが多くあるため、行財政改革全体の効果額は、明らかにしていません。

※1 行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いています。

※2 令和4年2月に策定した「財政健全化計画」に定めた目標値

3 令和7年度の実績について（全60項目）

年度終了後、取組項目ごとに「数値目標」及び「年度別計画」の2種類の評価を実施します。「数値目標」の評価は、数値目標の達成状況を評価するものであり、「年度別計画」の評価は、毎年度定める年度別計画の進捗状況を評価するものであり、「数値目標」と「年度別計画」の評価は別々に実施します。

(1) 数値目標の達成状況を評価するもの

・・・取組項目34項目

取組項目に掲げる数値目標設定数47（評価対象）

※取組項目において2以上の数値目標を掲げる取組があるため、取組項目数を超える設定数となっています。

区分	行動評価	数値目標数
A	目標を上回る達成	22
B	達成	13
C	未達成	12
合計		47

※NO.は、『取組項目の柱番号－主要項目番号－通し番号』を表します。

ア 区分 A（目標を上回る達成とした取組）：数値目標設定数 22

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
010501	施設の維持管理の効率化及び長寿命化の推進（営繕室）	公共施設の劣化状況評価における健全項目の割合	新築及び改修工事の実施により、公共施設の劣化状況評価における健全項目の割合が令和7年度計画値69.5%に対し、実績値は75.2%となり、計画を上回る結果となった。
020102	市税等の徴収率向上（収税課）	計画効果額 計画徴収率	納期内納付の推進や納税環境の整備、滞納処分等の強化を行ったことで、徴収率が向上し、計画効果額は計画値21,342千円に対し実績値119,517千円、計画徴収率は計画値97.43%に対し実績値98.12%と、計画を上回ったため。
020103	国民健康保険料の徴収率向上（保険年金課）	計画効果額 計画徴収率	多様な納付チャンネルを導入したことで、計画効果額は計画値3,979千円に対し実績値156,244千円、計画徴収率は計画値84.21%に対し実績値89.55%と、計画を上回ったため。差押等を885件実施し、全体の収納率は前年比で増加した。
020104	保育料の徴収率向上（幼児保育課）	計画効果額 計画徴収率	保育園の継続入所申込の際や園における訪問等滞納者への接触機会を増やし、個々の状況に応じた柔軟な納付相談を行うことで滞納額が減り、計画効果額は計画値416千円に対し実績値1,464千円、計画徴収率は計画値97.52%に対し98.15%と、計画を上回ったため。

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
020105	放課後児童クラブ保護者負担金の徴収率向上（こども支援課）	計画効果額 計画徴収率	新たに納付相談を実施し、児童手当からの支払申出書の案内文も色付き封筒により送付、また催告状・督促状文書の見直しを実施したことで、計画効果額は計画値 708 千円に対し実績値 1,619 千円、計画徴収率は計画値 96.40%に対し実績値 98.33%と、計画を上回ったため。
020106	介護保険料の徴収率向上（高齢者支援課）	計画効果額 計画徴収率	引き続き様々な納付方法の周知や滞納処分強化を行ったことで、計画効果額は計画値 4,720 千円に対し実績値 41,920 千円、計画徴収率は計画値 97.16%に対し実績値 99.13%と、計画を上回ったため。
020107	公共下水道料金の徴収率向上（下水道課）	計画効果額 計画徴収率	上水道と併せて徴収していることや多様な決済方法（スマートフォン決済やネット銀行による口座振替）を導入していることで、計画効果額は計画値 11,283 千円に対し実績値 25,952 千円、計画徴収率は計画値 97.50%に対し実績値 99.00%と、計画を上回ったため。
020108	学校給食費の徴収率向上【過年度分】（給食管理室）	計画徴収率 （過年）	過年度徴収率について、文書催告や電話催告を2回ずつ行い児童手当からの徴収も例年より積極的に行ったため、計画値 13.0%に対し、実績値 26.32%となり、計画を上回る結果となった。
020201	手数料、使用料の見直し（財政室）	使用料見直しによる効果額	使用料について、令和8年4月1日からの改定の実施により、計画値 5,000 千円に対し、令和8年度当初予算ベースによる令和7年度実績値は 9,740 千円となり、計画を上回る結果となった。
030101	義務的経費を除く経常的経費の抑制（財政室）	経常収支比率	令和7年度においては、人事院勧告等に伴う人件費、介護給付・訓練等給付や生活保護などの扶助費、小中学校 ICT 環境整備などの物件費、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合負担金などの補助費等の増などにより、経常経費充当一般財源が増加したものの、分母において、市税や普通交付税、地方消費税交付金の増などにより、結果として経常収支比率は目標値を達成した。

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
030102	歳出全般の効率化と財源配分の重点化（財政室）	経常収支比率	令和7年度においては、人事院勧告等に伴う人件費、介護給付・訓練等給付や生活保護などの扶助費、小中学校ICT環境整備などの物件費、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合負担金などの補助費等の増などにより、経常経費充当一般財源が増加したものの、分母において、市税や普通交付税、地方消費税交付金の増などにより、結果として経常収支比率は目標値を達成した。
030103	財政健全化計画に基づく中長期的な財政運営の確立（財政室）	経常収支比率	人事院勧告等に伴う人件費、介護給付・訓練等給付や生活保護などの扶助費、小中学校ICT環境整備などの物件費、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合負担金などの補助費等の増などにより、経常経費充当一般財源が増加したものの、分母において、市税や普通交付税、地方消費税交付金の増などにより、結果として経常収支比率は目標値を達成し、前年度からも改善した。
030201	単独扶助費、補助金等、負担金・分担金の見直し（財政室）	経常収支比率	令和7年度においては、歳出面では全庁を挙げて実施している車座集会、職員提案などの行財政改革などに取り組んだ。歳入では、市町村民税や固定資産税等の増により市税の決算額は前年度を上回り、普通交付税などの地方交付税が前年度の決算額を上回ったことなどから、結果として経常収支比率は目標値を達成し、前年度からも改善した。
040201	車座集会による業務改善等の推進（企画政策室）	車座集会等への参加人数（累計）	各年度100人の参加を目標としているところ、令和7年度は311人の参加があったため、計画値2,900人に対し実績値3,337人となり、計画を上回る結果となった。
040202	人材育成の推進（人事室）	研修受講人数（階層別、実務、派遣）	デジタル人材育成に係る研修の実施等により、計画値1,300人のところ実績値は1,611人と、計画を上回ったため。
040301	協働の推進（市民活動推進課）	協働研修の理解度	令和7年度計画値78%に対し実績値100%となり、計画を上回る結果となった。

イ 区分C（未達成とした取組）：数値目標設定数 12

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
010201	各種印刷物、出版物の見直し（行政室）	印刷用紙・コピー用紙年間発注枚数	計画値 903 万枚に対し実績値 965 万枚と、達成に至らなかったため。
010401	民間活力の導入・促進（企画政策室）	民間活力検討会議開催	民間活力検討会議は、検討テーマの選定まで至らず、開催しなかったため。
010602	都市公園における公園灯の LED 化（公園緑地課）	公園灯の LED 化の実施灯数	計画値 51 灯に対し、59 灯の LED 化発注を行ったが、うち 37 灯については材料納品の遅れ等により、実績値 22 灯となったため。
020108	学校給食費の徴収率向上【現年度分】（給食管理室）	計画効果額 計画徴収率	過年度徴収率について、文書催告や電話催告を 2 回ずつ行い児童手当からの徴収も例年より積極的に行ったため、計画値 13.0%に対し、実績値 26.32%となり、計画を上回る結果となった。
020402	デジタルサイネージの実施及び行政情報の積極的な発信（企画政策室）	計画効果額 （新規・拡大のみ）	当初見込んでいたデジタルサイネージ 2 台からの広告料及び市ホームページの広告掲出料の収入が減額し、計画値 1,740 千円に対し実績値△1,163 千円と、達成に至らなかったため。
020404	ふるさと納税制度の活用（財政室）	ふるさと納税 寄附金効果額	令和 7 年 10 月に仲介サイトのポイント付与が禁止となったことを受け、令和 7 年 9 月までに駆け込みで寄附需要が増えたものの、10 月以降はほとんどの月で令和 6 年度と比較して寄附額が下回り、計画値 74,514 千円に対し実績値 47,170 千円と、達成に至らなかったため。
030103	財政健全化計画に基づく中長期的な財政運営の確立（財政室）	財政調整基金 年度末残高	財政調整基金年度末残高については、保険料率改定による国保特会への赤字繰出の減により 151,484 千円増となったが、民間給与の上昇を受けた人件費や各種委託業務の物件費、社会保障費の増、さらには国と連動した物価対策などに活用した結果、計画値 19 億円に対し、実績値 16.6 億円と、達成に至らなかったため。
030301	給与・手当の適正化	時間外勤務時間数（枠配分ベース）	令和 7 年度の時間外勤務時間数は市役所全体で 84,865 時間となり、当初計画時間数との比較で 3,925 時間増加したため。

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
030302	定員・組織の適正化 (人事室)	職員一人あたり人口(人口/職員数)	業務量に応じた適正な人員配置を行い、令和7年度については、前年と比べて職員数は減となったものの、計画値 147.0 人に対し実績値 142.2 人と、達成には至らなかったため。
040203	窓口サービスの向上	窓口対応の研修参加数	接遇研修の参加者増のため各課連絡で周知を行ったものの、計画値 150 人に対し実績値 149 人と、達成には至らなかったため。
040301	協働の推進 (市民活動推進課)	協働アドバイザーによる相談件数	計画値 158 件に対し実績値が 37 件と、達成に至らなかったため。

(2) 年度別計画の進捗状況进行评估するもの・・・取組項目60項目

区分	全体評価	項目数
A	計画を上回る	1
B	計画どおり	54
C	一部未実施	5
D	未実施	0
合計		60

ア 区分 A (計画を上回るとした取組)：1 項目

No.	取組項目名	評価の理由
040201	車座集会による業務改善等の推進(企画政策室)	行革版車座集会について、管理職版・係長版・若手版に分けた上で計 11 回開催した結果、86 件もの提案があり、早期に実現可能な効果的な取組について検討し、予算編成につなげることができた。

イ 区分 C (一部未実施とした取組)：5 項目

No.	取組項目名	評価の理由
010102	基幹系業務システムの標準化(DX推進室)	個人住民税、選挙人名簿管理、児童手当、児童扶養手当、介護保険、生活保護、戸籍の附票について、一部機能経過措置を適用することから、次年度以降に継続するため。
010108	汎用ノーコード・データベースの導入(DX推進室)	DX リーダー向け研修は全員が受講完了したが、非リーダー向け研修は実施に至らなかったため。

No.	取組項目名	評価の理由
010116	災害情報共有システムの導入（安全対策課）	システム導入について意思決定には至らなかったため。
010201	各種印刷物、出版物の見直し（行政室）	削減方針の策定には至らなかったため。
010401	民間活力の導入・促進（企画政策室）	検討テーマの抽出については、先進市の事例や業者からの情報を収集するなどを行ったが、方針の策定までには至らなかったため。